当院で膵癌に対して手術を受けた方へ
研究の名称：膵癌における術前画像腫瘍径と病理学的腫瘍径の乖離に関する検討

■研究目的・方法・対象
この研究の目的は，膵癌の手術前に検査で測った腫瘍の大きさと，実際に手術で取り出した腫瘍の大きさの違いに注目し，その差が患者様の経過に関係しているかどうかを明らかにすることです．私たちは手術前の検査での腫瘍径と切除標本での腫瘍径の差を「増大率」として数値化して評価します．方法としては，2010年から2025年に当院で手術を受けた膵癌患者さんを対象とし，手術前には主に超音波内視鏡検査やCTで腫瘍径を測定し，手術後には病理検査で腫瘍の正確な大きさを確認します．そして両者の差を手術までの日数で割り，腫瘍がどのくらいの速さで大きくなるのかを指標化し，予後との関連を検討します．

■研究期間
承認日～2028年12月31日まで

■研究対象・研究に用いる情報の種類
2010年1月1日から2025年7月30日までの間に当院にて膵癌の手術を受けた方を対象とします．
調べる予定の情報は以下のようなものです．
診断名，手術内容，病理組織結果，現在の病状など

■個人情報の開示に係る手続きについて
本研究では，個人を特定できないように症例のデータを収集致します．使用に際しては，政府が定めた倫理指針に則って個人情報を厳重に保護し，研究結果の発表に際しても，個人が特定されない形で行います．みなさまに新たにご負担頂くことはございません．当研究への協力を希望されない場合は，研究担当者までお問い合わせ下さい．

■研究責任者：
京都医療センター外科　中村　公治郎

■お問い合わせ先
京都医療センター外科
〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町1-1
電話：075-641-9161

■掲示場所・交付場所
京都医療センター外科ホームページへ掲載